

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (11) 平成 28 年度ながさき青年農業経営塾
農林中央金庫長崎支店（長崎県）

新規	継続
	○
	(平成 26 年 7 月)

1 動機 (経緯)	長崎県が、平成 28 年 3 月に策定した「新ながさき農林業・農山村活性化計画」に掲げる基本目標「収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化」、「経営感覚に優れた時代の担い手の確保・育成」、「地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり」の実現に向け、将来、地域農業のリーダーとなる人材の育成を図るため経営感覚を養い、経営力を強化することを目的に、長崎県および一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン(AFJ)が実施主体となり、セミナーを開催しています。また当取組みについて、農林中央金庫長崎支店は平成 26 年度から後援しています。
2 概要	平成 28 年度ながさき青年経営塾は、30 名の塾生を対象に平成 28 年 7 月から 11 月まで計 8 回開催され、農業経営者の役割および農業経営者に必要な経営力等について、先進的農業法人の経営者等から講義を受けるとともに、塾生同志のグループ討議等を重ねました。 農林中央金庫長崎支店においては、第 7 回の講師対応で「事業計画を実現する・金融機関の審査の目線」という講義を行いました。講義の中身としては、JAバンクグループの農業関係資金実績、農業所得増大・地域活性化応援プログラムの概要等を紹介してから、金融機関の審査目線に重きを置いた事業計画の作成方法を説明しました。
3 成果 (効果)	卒塾式においては、各塾生から経営計画が発表されました。経営計画は経営理念、SWOT分析、5 年間のビジネスプランで構成されており、規模拡大化、法人化、地域活性化等掲げ、農業に対する熱い思いを感じることができました。 また共通の課題として、労働力不足をあげており、当課題を解決する 1 つの手段として、法人化による社会保険の整備に伴う雇用の創出を挙げる塾生も見受けられました。
4 今後の予定 (課題)	「ながさき青年農業経営塾」については、平成 29 年度は「農業オープンアカデミー」というタイトルで、開催されることになっており、農林中央金庫長崎支店においても、引き続きセミナー講師対応、事務局業務支援等を行っていくこととしております。